

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 住友電気工業株式会社（証券コード:5802）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
発行登録債予備格付	AA
国内CP格付	J-1+

### ■格付事由

- (1) 電線業界の国内最大手。環境エネルギー、情報通信、自動車、エレクトロニクス、産業素材他の5事業を開拓。売上構成では自動車事業が6割弱、環境エネルギー事業が2割強を占める。自動車向けワイヤーハーネスで世界トップクラスのシェアを有し、光ファイバ・ケーブル及び関連機器類などでも高いシェアを持つ。25年10月以降、住友理工株式会社の完全子会社化と住友電設株式会社の持分譲渡を進めている。
- (2) 主要5事業において優れた技術力や優良顧客との取引関係など強固な事業基盤を構築している。足元の業績は自動車事業及び環境エネルギー事業の高水準の利益に加え、情報通信事業での利益急増により好調に推移している。財務健全性も維持されている。上場子会社の再編を財務負担を抑えた形で進めており、住友理工の完全子会社化は自動車部品分野でのグループ総合力向上に資すると考えられる。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。JCRでは財務基盤の更なる強化、住友理工とのシナジー効果発現に注目している。
- (3) 26/3期は営業利益3,750億円（前期比16.9%増）の計画で過去最高を4年連続で更新する見通し。米国関税影響は値上げ等で抑制されつつあり、情報通信事業においては生成AI拡大に伴うデータセンター関連製品（光デバイス、光配線製品など）の需要急拡大で利益が急増している。近年、自動車事業以外のセグメントの利益が厚みを増しており、中期的にも各事業が支え合う形で安定した業績推移が見込まれる。
- (4) 自己資本比率は50%強まで改善している。今後も市場成長が見込まれるエネルギー、情報通信、モビリティの分野において積極的な設備投資が予想されるが、キャッシュフロー創出力を踏まえれば中期的に財務構成の維持・改善は可能と想定される。

（担当） 上村 晓生・小野 正志

### ■格付対象

発行体：住友電気工業株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し			
長期発行体格付	AA	安定的			
対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2017年3月1日	2027年3月1日	0.300%	AA
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年2月28日	2030年2月28日	0.190%	AA
第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年2月28日	2027年2月26日	0.150%	AA
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	500億円	2023年7月13日	2033年7月13日	0.809%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400億円	2023年7月13日	2029年7月13日	0.464%	AA
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	1,500億円	2025年8月29日から2年間		AA	
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	1,500億円	J-1+			

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

### 1. 信用格付を付与した年月日：2026年2月12日

2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武  
主任格付アナリスト：上村 晓生

### 3. 評価の前提・等級基準：

評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日) として掲載している。

### 4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日) として掲載している。

### 5. 格付関係者：

(発行体・債務者等) 住友電気工業株式会社

### 6. 本件信用格付の前提・意義・限界：

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関する JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

### 7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：

- ・格付関係者が提供した監査済財務諸表
- ・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明

### 8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

### 9. 格付関係者による関与：

本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。

### 10. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると暗示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他の責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付) 第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル